

諏訪地方の経済概況速報

平成26年10月

(平成26年9月末調査)

平成26年10月27日
長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【 8月】	諏訪公共職業安定所管内	1.20 倍	0.33 ポイント
手形交換高【 9月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	7,228 枚	△319 枚
	金 額	9,454 百万円	△769 百万円
	うち不渡り 発生状況	枚 数	1 枚
	金 額	1,000 千円	△2,288 千円
電力使用量【 9月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	39,113 MWh	△9.2 %
	高圧電力計	93,268 MWh	△2.1 %
	合 計	132,381 MWh	△4.3 %
車庫証明取扱件数【 9月】(諏訪地方合計)		1,010 件	1.4 %
新設住宅着工戸数【H26年4月～8月】(諏訪管内)		447 戸	△25.4 %

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

地域の概況

9月、円相場が1ヶ月で7円近く急落して約6年ぶりに109円台となり、株価も年初来の高値を更新するなど、急激な変化があった。円安の波及効果は、製造拠点の海外移転などで中小企業に広がりやすく、むしろ輸入物価や原燃料コストの上昇につながる状況が表れ、国内景気はもたつきを見せた。諏訪地方でも、半年が経過した消費増税の影響は薄れつつあるものの、多くの業種でコスト高に悩む企業が増えている。月末には御嶽山が噴火し、観光面の風評被害に懸念を残した。雇用情勢は、有効求人倍率が全県や全国の平均を上回る状況が続き、労働力確保が経営課題となる企業も多い。

●製造業 「大手の設備投資計画で一般機械が増加傾向」

自動車部品などの輸送用機械関連は、受注がやや弱含みになった企業もあるが、総体的には堅調に推移している。トラック部品関連で好調が続くほか、海外に移った仕事が円安で一部戻って売上げに寄与したという企業もあり、年内は好調を維持できると見る企業が多い。来年の軽自動車税改定前の駆け込み需要に備える動きもある。一方で、欧州や中国、新興国向けで減速感があり、先行きに不透明感を持つ企業もある。金属部品加工は、企業によって受注状況に違いがあるが、小ロット化の傾向があり、輸入材料や薬品類の価格上昇による経費負担が増えている。工作機械や専用機などの一般機械は、大手企業の設備投資計画が増加し、総体的に受注増の傾向となっている。自動車関連のほか、医療機器、空調関連などに動きがある。電気機械は、情報機器などで受注が増加しているが、材料や燃料高の影響も受けている。精密機械は、設備投資の増加に伴い、製造装置などに設置する監視カメラなどが増加傾向になりつつある。クリスマス商戦に向けた量産物の受注があった企業もあるが、堅調だった車載用カメラや医療用レンズで新規発注が減少したとする企業もあり、取引先によって受注にばらつきがある。

●商業 「自動車販売がやや増加」

天候の影響で葉物をはじめとする生鮮野菜の高値が続き、秋口には落ち着くと見られていた肉類も高値で、飲食店などの仕入れを圧迫した。冷蔵庫などの家電販売は買い替え需要が少なく総体的に低調だったが、暖房器具類は好調な出だしとなった。 Deng熱関連で虫除けスプレーが、9月に入っても売れ続けた。大型店の閉店があり、利用客の流れが変化したこともあり、各店が商品の安値対策を行い、価格競争が激化している。自動車販売は、諏訪地方の9月の車庫証明件数が1,010件で、前年同月比14件、1.4%増加した。4月の消費増税以来、初めて前年同期を上回り、前月比でも290台、40.3%増加した。

●観光・サービス業 「御嶽山噴火の風評被害懸念」

月末に起きた御嶽山の噴火の影響が出始め、各地の施設で降灰などの問い合わせがあり、一部キャンセルもあった。霧ヶ峰や車山など高原の観光地では、噴火の直接的な被害はないものの、同じ長野県の山岳ということで、年配者をはじめとするキャンセルが見られた。多くの施設は紅葉のピークとなる10月の動向を懸念している。上諏訪温泉は、前年同期比で宿泊客が大幅増の施設もあったが、多くは減少傾向だった。消費増税以降は総体的に売り上げが減少しているが、最近では客単価が上昇している施設もある。富士見方面の施設は、諏訪湖の新作花火とタイアップした企画が好評で来場者の増加につながった。

●建設業 「企業によって受注感触が変化」

市町村の9月の発注工事は、合計115件、1,618百万円となった。前年同月に比べ、件数は35件増加し、契約金額も818百万円増加した。一方、県関係の9月の公共工事(地元業者受注分)は19件、871百万円だった。平成26年4月～9月の累計は66件、3,435百万円で、前年同期の累計比で件数は25件、契約金額は198百万円減少(△5.4%)した。民間工事は、諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数が71戸で、前年同月比96戸の減少(△57.5%)となった。平成26年4月～8月の累計比でも152戸の減少(△25.4%)となっている。公共工事やリフォームなどで繁忙が続く企業の反面、弱含み感があり冬場の受注確保を懸念する企業もある。

●雇用 「有効求人倍率がさらに全県、全国平均上回る」

諏訪地域の8月の有効求人倍率は、前年同月を0.33ポイント、前月を0.06ポイント上回る1.20倍となった。前年同月を15ヶ月連続で上回り、全国平均の1.10倍、長野県平均の1.13倍も上回った。新規求人(全数)は1,460人で前年同月比120人増加(9.0%)した。要因別では「業務量増大」「創業・新分野展開」が増加し、「継続する人員不足」「欠員補充」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、「飲食店・宿泊業」で38.3%、「卸・小売業」で36.1%増加したが、「運輸業」で33.3%減少した。新規求職者数は751人で、前年同月比161人減少(△17.7%)した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は33人で、前年同月比42人減少し、前月比でも10人減少した。多くの分野で人手不足感が表れている。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	一部基板には動きがあるが、市場規模が縮小し低調に推移している。
プリンター	増加基調のプリンターはあるが、生産の海外移転の影響がある。
コンタクター・ リレー	前年同期比で増加し、安定した受注状況となっている。フル稼働の企業もある。

2. 輸送用機械

自動車	北米向けをはじめ、部品関連は堅調に推移し、休日返上が続く企業がある。年内は好調が続くと見込む企業が多いが、いくぶん受注が弱含み始めたと感じる企業もある。欧州や中国など不安定な世界情勢もあり、先行きの不透明感も出ている。
船外機	これまで好調を維持してきた北米や新興国向けが減少し、受注に一服感があるが、大幅悪化の懸念は少ない。
その他	重機関連の部品加工は取引先によって波がある。

3. 一般機械

工作機械・専用機	自動車とIT関連の受注が増加し、大手を中心に回復傾向となっている。新機種向けの検査装置などは終了し、通常ペースに戻った。取引先の設備投資が始まり忙しくなっている企業もある。
搬送用機械	大手企業の設備投資計画が増加していることから、回復傾向が続き、今後も堅調に推移すると見られるが、一部に不安定さもある。
金型	自動車関連、車載部品関連などで回復の動きがある。
ダイカスト	量産物の受注が増えた企業もあり、回復傾向が見られる。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの8月の生産台数は約383万台。前月比11.2%増加したが、前年同月比では29.9%の減少となった。8月の出荷台数は国内出荷約48万台、海外出荷約349万台の合計約397万台となり、前月比13.5%増加、前年同月比では30.4%減少となっている。
レンズ	取引先ごとに受注状況にばらつきがある。中国向けなどで監視カメラの需要はあるが、円安の進行で電気料や工場内で使用する消耗品の石油製品などの値上げが、利益を圧迫している。

5. 繊維

ニット

冬物の生産が最盛期を迎え、例年より好調。特に高級品の受注が増加している。原材料や燃料の価格転嫁は難しい。

6. 食品

寒天

問屋や道の駅での販売や業務用寒天が伸びている。木曾の道の駅は御嶽山の噴火で懸念されている。

味噌

原材料は米の高騰が収まったものの、大豆や資材、燃料のコストが収益を圧迫する状態が続いている。

7. 製材

諏訪地方の8月の木造新設住宅着工戸数は62戸で、前年同月比48戸の減少(△43.6%)だった。

8. 建設

公共工事

9月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所14件、農地整備課5件の合計19件で、契約金額は871百万円だった。平成26年4月～9月の累計は66件、3,435百万円となり、前年を下回った。一昨年同期累計比では1,120百万円、48.4%の増加となっている。大口の工事が出始め、累計金額では前年同期と同水準で推移している。今後も公共工事の増加で工事量の増加を見込む企業もある。ただ、今のところ、来年度に向けた案件の動きは鈍い。工事単価が上がり、職人不足も続いている。

市町村の9月の発注工事は、建築工事9件1,026百万円、土木工事及び下水道工事71件547百万円、その他工事35件45百万円の合計115件1,618百万円となった。金額ベースでは、茅野市のデジタル防災行政無線整備工事約920百万円が主な増加要因となっている。

民間工事

諏訪地方の8月の新設住宅着工戸数は71戸で、前年同月比で96戸の大幅減少(△57.5%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は50戸減少の60戸、「貸家」は16戸減少の8戸、「分譲」は同数の3戸となった。平成26年4月～8月の累計は447戸で、前年同期累計比では152戸の減少(△25.4%)となっている。駆け込み需要分が9月でなくなったとする企業が出ている。リフォームや事業所の修繕工事は弱含みになった企業と、依然繁忙な企業があり、冬場の工事に向けた感触の違いがある。

長野県内の8月の新設住宅着工戸数は855戸で、前年同月比25.0%減少した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が548戸で30.5%減少、「貸家」は184戸で18.2%減少、「給与」は4戸で87.1%減少、「分譲」は119戸で24.0%増加した。

9. 商業

衣料	8月に比べて天候は良かったが、雨が少なく低温でレイングッズなどの売り上げは振るわなかった。
食料品	天候の影響で生鮮野菜、特に葉物野菜が高騰した。鮮魚は、業者間の引き合いが弱く、比較的価格は安定していた。
家電製品	エアコン、冷蔵庫の販売は低調。パソコンは価格上昇で低調だが、モニターなどの周辺機器にやや動きがあった。
自動車	県内の9月の新車新規登録台数は、登録車が2ヶ月連続減少した。一方、軽自動車は5ヶ月ぶりに増加した。全体では前年同月比337台減少(△2.9%)の11,432台で、2ヶ月連続で減少した。
ホームセンター	石油ストーブなどの暖房用品を早めに出した所は好調な出足となった。

10. 観光

上諏訪温泉	9月の宿泊人数は前年同期比70～110%台の施設が多く、総体的には、やや減少傾向だった。中国人観光客が増加傾向。天災によるキャンセルを懸念する施設が多い。
蓼科・白樺湖・車山等	前年並みの売り上げの施設や連休の集客ができなかった施設などそれぞれの様相だが、ベースとなる固定客がある施設は天候などの影響を受けなかった。
下諏訪温泉	新作とフィナーレの花火大会時には満館となる施設が多かった。学生の夏合宿で伸びた施設もある。
諏訪大社	上社・下社合わせた9月の参拝者数は約5万6千人で、前年同月比では約7千人の増加(13.6%)となった。団体の参拝客が訪れている。

● 企業からのコメント

- ・ 海外生産ではなく、国内生産でもコスト面で合う部品も出てきたが、大手企業は国内回帰をためらっている様子(輸送機械関連製造業)。
- ・ 受注増対応で正規雇用したが、技術者の人材確保は困難(輸送機械関連製造業)。
- ・ 価格転嫁を依頼しているが、難しい状況。原材料の値上げをどこで吸収するか頭が痛い(精密機械製造業)。
- ・ これまで家電製品は壊れると買い替えがほとんどだったが、最近は修理依頼が多い(家電販売業)。
- ・ 7月後半から反動減の影響が薄れ平常時に戻りつつある(自動車販売業)。
- ・ 安定推移しているが、冬場の受注確保が気がかり(建設業)。
- ・ 公共工事の職人の長期滞在があり、売り上げに寄与している。限定格安プランも好評(観光業)。